

日本カントリークラブ ローカル・ルールス

- アウト・オブ・バウンスの境界は白杭、修理地の限界は青杭と白線をもって標示する。
ペナルティエリアは、赤杭または赤線にて標示する。
- 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
- 特定地域の境界を示す杭およびホールまでの距離を示す杭は「動かせない障害物」である。
公式競技においては、縞杭は動かせない人工障害物とし、スタンスやスイングの妨げとなれば、規則 16-1a を適用できる。防球ネットが、インバウンズ側にある場合は「動かせない障害物」であり無罰で救済を受けられる。防球ネットが飛球線上にある場合は、無罰で救済を受けられる。
- 予備グリーンに球が乗り、スタンスがかかるときは、グリーン外（カラーを含む）の場所にニアレストポイントを決し救済しなければならない。
- ラウンド中、プレーを終わったホールのグリーンやその近くで練習ストロークを行ってはならない。
- 特設ティ設置ホールにおいて第 1 打が「O・B」または紛失球のときは、前方特設ティより第 4 打としてプレーしなければならない。なお、特設ティマークでは、ティアップではなくドロップにてプレー再開するものとする。但し公式競技を除く。
- 縞杭を超えた球は、境界線を最後に超えた地点より 2 クラブレングス内にドロップすること。縞杭を超えた球を捜さなくても、プレーヤーは別の球をイン・プレーすることができる。罰打は何れかの場合も 1 打付加。但し公式競技を除く。
縞杭は「O・B」扱いとする。
- 電磁誘導カート用のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。また、「コンクリート軌道の間にある場合、競技者はゴルフ規則 16-1a の救済を受けなければならない」。
- カート道路に接している側溝、排水口のある箇所は「一体」の動かせない障害物とする。
- バンカーに入った打球がバンカー内の排水口に接するか、スイングやスタンスの区域にかかる場合はニアレストポイントから 1 クラブレングスの範囲内にプレー出来る。
- 特設ティ設置のないホールの 1 打目もしくは 2 打目以降、アウトオブバウンスの球または紛失球は、その基点とフェアウェイの基点を定め、救済エリアからホールに近づかず入ったと思われる場所に最も近いフェアウェイにドロップし 2 打罰を加えプレーできる。このローカルルールはクラブ競技にも適用する。
- 本ローカルルールス以外はすべて J G A ゴルフ規則による。

※印は大会ルールとする。

ヤーデージ（Aグリーン予定）

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	5	4	5	4	4	3	4	3	4	36
Front	405	275	402	195	315	177	210	125	349	2,458
Regular	517	381	489	335	421	177	342	125	444	3,231
Back	536	396	510	340	430	210	389	144	469	3,424
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN
PAR	4	3	5	4	4	4	3	5	4	36
Front	285	137	442	245	284	318	105	452	381	2,549
Regular	369	170	526	407	284	318	179	528	381	3,162
Back	389	187	563	442	298	336	213	575	412	3,415

一般男性：Back（青） シニア男性：Regular（白） 女性：Front（緑）

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上

2019年1月7日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会